

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
演習 3 (REC)											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	栃木哲也			実務経験	有	職種	レコーディングエンジニア				
授業概要											
レコーディングエンジニアとして必要な知識の再確認し、さらには掘り下げ理解していくことを目的とする。エンジニアリングの目的は良い音である。良い音とは何か、自分で発見し、体験して行く事がなければ、形式だけの音となってしまうので、可能な限りのマイクの取扱方法に熟知し、楽器側の状態も考慮に入れた音作りが出来るようになる。											
到達目標											
スムーズな実習が行えるよう、しっかりとした下地を自分の中に作ることを目標とする。マイクロフォンの名称から各種特性を覚え、楽器やアーティストごとに適切なマイク選びができるようになる。クライアントの細かい注文にも対応できるよう、わずかの音の差にも気づき処理出来るようになる。また仕事全体の流れを円滑にできるよう、アーティストの意思を先読みし、コミュニケーションが適切に取れるようになること。											
授業方法											
必要に応じてプリント資料を適時配布する。アーティストに来校してもらい実習する際はアーティストの立場や作りたい音をよく考え、アーティストに信頼されるエンジニアになるための態度も学ぶ。											
成績評価方法											
課題の内容、提出状況、平常点を総合的に判定する。											
履修上の注意											
音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由を除き欠席・遅刻は認めない。											
教科書教材											
必要に応じてプリントを配布。											
回数	授業計画										
第 1 回	エンジニアの知識確認電気、様々なオーディオフォーマット、PC関連の知識がわかる。										
第 2 回	アナログ卓復習アナログ卓（SSLのブロックダイアグラムを理解）が使える。										
第 3 回	マイクロフォンの紹介マイクロフォンのメーカー、代表的なマイクがわかる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科	
演習 3 (REC)	
第 4 回	アーティストの立場を研究スタジオ、ライブ、パートごとのモニターの目的がわかる。
第 5 回	バンドセッティングいくつかのバンド編成をもとに回線図、準備図を書ける。
第 6 回	バンドセッティング2マイクロフォンの選び方、セッティング方法、が適切にできる。
第 7 回	ギターの音作り楽器についての知識、マイク、ラインの違い、各種音の特徴についてわかる。
第 8 回	アーティストとのコラボレーションレコーディングエンジニアとしての仕事の発掘、インディーズバンドとの関わり方がわかる。
第 9 回	アーティストとのコラボレーション様々なバンドのミックスを考察する。メーターとの関係もわかる。
第 10 回	リバーブ研究リバーブや空間系のエフェクターの使い方がわかる。
第 11 回	コンプレッサー・リミッター研究コンプレッサーなどダイナミクス系のエフェクターが使えるようになる。
第 12 回	エフェクター上記以外のよく使われるエフェクターについても使えるようになる。
第 13 回	教育成果発表会（文化祭に向けて）レコーディングエンジニア専攻らしいイベント、発表を検討する。
第 14 回	スタジオのつくり、設計もし、自分がスタジオを建てたなら？スタジオの構造、各機器の金額、立地など条件がわかる。
第 15 回	教育成果発表会（文化祭に向けて）レコーディングエンジニア専攻らしいイベント、発表の準備